

歌姫

1

うぐひすのやうなやさしい声を
ほほゑんだくちびるから流してゐる
脚光は影を消してしまはうとあせつてゐる
ゆらゆら動いて
かへつてうすいけれども多数のあなたが出来てしまふ
白い手に茶色のハンケチを持って立つてゐる
あなたは歌をうたつてゐる
言葉と意味と曲のよさの限界をかぎり
僕はあなただけを見つめようとしてゐる
何があなたを美しく見せてゐるのであろうか
僕はどの部分に心ひかれてゐるのであろうか

2

化粧した唇からは私のでない別のものばかりが
軌道に乗つたやうに一日に五度づつうたはれるのです
奈落からのもの
ほこりばかりのみにくいものです
私ほいつも悲しんでゐます
けれども時に幸福が私を訪れます
不意に誰かが
私の厚ぼつたいお白粉や洋服を襲つて
別の何か異様なあたたかい強いものでおほつて下さる時！
私の歌は下手なのです
私の心をみつめて下さいね
立つてゐて目まひしさうな脚光やあなた達のするどい目を
避けられないままに
今も五分の時間をがまんします